



ミニティアラ
ライラック

少しがつた
花びらが特徴!

カーネーションとナデシコを
交配して作られている。剣
咲きタイプの花びらがティア
アラ(女性の装飾品)を連想
させることが名前の由来



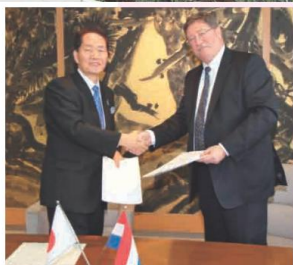
ミニティアラ
コーラルピンク

母の日の花として人気のカーネー
ション。国内ではさまざまな品種が
栽培され、その優れた品質と個性は
世界でも評価され始めています。

平成26年1月、香川県は、ミニティ
アラシリーズの2品種「コーラル
ピンク」と「ライラック」に関して、



香川県がオランダでの生育条件
や適性などの研究もサポート



浜田香川県知事とヒルベルダ・コイイタス社長との調印式(平成26年1月17日)

香川県農業試験場が苦心の末に育種した、 カーネーションの花姿にオランダの種苗会社が目ぼれ! 今や、世界7か国で栽培される人気品種に

—— 香川県 香川県高松市

オランダの大手種苗業者ヒルベル
ダ・コイイタスと年間限定で、海外
での苗の生産・販売を認める利用許
諾契約を結びました。

ミニティアラは、香川県農業試験
場で独自に育種されたオリジナル品
種です。この小さくてかわいらしい

花に目をつけたのが、ヒルベルダ・
コイイタス。視察のために来日してい
たマリス・タス社長が一目見て興
味を示し、2年間のオランダでの現
地試験栽培を行いました。自社の品
種展示会に出してみたところ、予想
を上回るほどの反響が。その後、欧
州連合(EU)、ケニア、コロンビ
アに品種登録し、正式な生産販
売へとこぎつきました。

「海外の企業と契約を結ぶのは県に
とって初めてですが、試験栽培中は
オランダへ栽培指導を行う
など、現地での育成環境づく
りに努めました。県オリジナル
品種を世界にアピールする
よい機会。国内外で人気が高
まれば需要が増え、生産量の
拡大にもつながります」と、
香川県農業生産流通課の古
市崇雄さん。現在、ミニティ
アラはオランダからドイツ、
イタリア、コロンビアなど世
界7か国で栽培・市販されて
います。

日本のカーネーション
の美しさを、
世界へ届けたい!



「花瓶に生けてから1か月ほどもちます」と品質にも太鼓判を押す上條さん(右)と、フロリアード2012で1席を受賞したビガー・ホワイトを育てた横林敬幸さん(左)



ビガー・ホワイト。品種名
は「煙(煙きめき)」に決定

出荷作業をしながら他の
メンバーが育てた花を見
ることで、たがいに切磋
琢磨し技術を向上

白い花びらが幾重にも重なるよ
うに咲く大輪のランキユラス「ビ
ガー・ホワイト」。2012年フエ
ンロー国際園芸博覧会「フロリア
ード2012」の品種コンテストで1
席を受賞し話題となりました。

この大輪の花を育てたのは、長野
県松本市を中心に近隣の花き農家20
人で結成する(株)フラワースピリ
ット。代表の上條正太郎さんらがラン
キユラスに目をつけたのは8年
と前のことです。宮崎県の「綾園芸」
代表で育種家の草野修一さんと出会
い、大輪系の品種を知ったことが



日照時間が長く、冷涼な気候という栽培環境もラ
ンキユラスに適している



(株)フラワースピリ
ットで栽培しているラン
キユラスは約150
品種。出荷期間は
11月から翌5月上旬
で、国内だけでなくア
メリカなどにも輸出



出荷しにくい花きを
栽培の工夫で
消費者のもとへ

蕾で出荷すると、きれいに花が咲かないランキユラスを 開花させて出荷することで、大輪の切り花を実現 1か月楽しめる、大人気に!

株式会社「フラワースピリット」(長野県松本市)

きっかけでした。当時の花き業界で
はランキユラスは「駄花」と言わ
れていたそうです。

「ランキユラスは花びらが多いた
め、他の花と同様に蕾に近い状態で
出荷すると花がきれいに開かない
とが多いんです」と上條さん。そこ
で、(株)フラワースピリットでは、
一度畑で花を咲かせてから、大輪の
花が垂れないよう、花首を堅くする
など、栽培方法を工夫しました。

市場では当初、花が咲きすぎて
売れないのではとの声もありまし
たが、上條さんたちは理想とする状
態の花を届けるため、流通・販売業
者とも連携しながら、数年がかりで
今の出荷規格を定めました。

また、球根の選抜や組織培養にも
力を入れ、花が開ききると最大で
18・5cmになる大輪のビガー・ホ
ワイトなど、他にはない花を生産。花
瓶に生けてから1か月ほどもち花も
あり、大輪の花を長く楽しめると評
判を呼んでいます。

患者さんを花で癒やすため、さりげない工夫もいっぱい!

手に取りやすい
低めの陳列棚



車椅子のまでも花
を選ぶように、陳
列棚を低めに設計。
高齢の方にもわり
やすいよう、花もす
き見やすく配置し
ている

車椅子もゆうゆう
通れる広い通路



車椅子の患者さんで
も買い物がしやすい
よう、通路を広くし
ている。通常の店舗よ
りゆったりとした印象

地元、南房総の花を
積極的PR



売り場の約3割が地
元産の花。千葉県
のご当地キャラ「チ
ャーペン」のタグを付
けてPR。「お花を身近
に感じられる」と好評



すぐに飾れるよう
花のそばで
花瓶も販売

買った花をすぐに病室などで飾
てもらえるように、ミニブーケのそ
ばにはちょうどよいサイズの小さな
花瓶を販売



病院で働いて
いますが、帰りがけに
よく花を買いませう

患者さんや見舞客だけでなく、病院で働く人にとっても心の癒やしに



病室へもお届け
しています!

「400〜700円くらい
の、ミニブーケやミニア
レンジが人気です」と
ショップの小川さん

レジのそばでは、
生花を持ち込みで
きい病室を案内



照らし合わせても、生花が感染リ
スクを高めるという科学的根拠はあり
ません。たとえば、見舞客との面会
や、病室の窓を開けるのはOKとい
う患者さまに、生花だけNGとい
うのは合理性がないように思いま
す」と亀田院長。現在は、骨髄移植、強
い化学療法を行っている人、特別に
配慮しなければならぬ患者を除い
て、生花持ち込みの制限は不要とし
ています。

最近では、病室で注文を受け付け
る新サービスも開始。さらに、花は
病院で働く人たちにとってもよい効
果を生んでいる。

「当院は、看護士だけで1000人
の若い女性が働く職場。24時間交代
で大変な仕事をしているスタッフに
対して、気軽に花を貰える店の存在
は大きい。そのよきとした心のゆ
とりが、患者さまに向き合う姿勢に
結びついていくんです」と亀田院長
は期待しています。



生花店があるのは、
1階外来受付そば



2009年、国際的な医療機能評
価機関であるJCIより、日本初の認
証を取得した亀田メディカルセンター。
感染対策や医療の質の向上に積極
的に取り組む

※亀田メディカルセンターとは、亀田総
合病院を中心とした医療施設の総称

病院のロビーに
患者も購入できる
花店をオープン

花の癒し効果を最大限に活用しよう、と、病院内に生花店を誘致
患者からは、前向きな気持ちになれる」と評判も上々!

千葉県鴨川市にある亀田メディ
カルセンターのロビーに、2013年
11月、青山フラワーマーケット鴨川・
亀田メディカルセンター店がオー
プンしました。

店内は、車椅子でも通れる広い通
路、手に取りやすい低めの陳列棚、
ミニブーケのそばにはガラスの小さ
な花瓶が並べられ、購入後すぐに飾
ることができると、病院ならではの
のびやかな配慮があります。

「患者さんからは季節を感じられ
てうれしい」「心が安らぐ」と喜ば
れています。南房総地域は国内有数
の花き産地なので、地元の花も多く
取り扱っています」とショップマ
ネージャーの小川さん。

以前から花の癒やし効果に着目
していた同院には、自前のフラワ
ーショップがありました。さらに質の
高いサービスを提供したいと考えた
亀田信介院長が、青山フラワーマ
ーケットに出店を依頼したのです。

病院職員にとっても
花が心のうるおに!

現在、院内感染予防の観点から、
病室へ花を持ち込みを禁ずる医療
機関が増えていることについてお聞
きすると、「最新の国際医療標準に



2014年1月からは、4000人
の全職員の誕生日にミニブーケ
をプレゼントしている亀田院長

青山フラワーマーケット鴨川・亀田メディカルセンター1店(千葉県鴨川市)